

性感染症予防

保健感染症担当
052-753-1982
a7531982@chikusa.city.nagoya.lg.jp

【目的】

若年層に対し、20代を中心に増加している性感染症に関する正しい知識の普及と予防意識の向上を図り、将来にわたる健康維持につなげることを目的とします。

【現状】

近年、梅毒の報告数は全国的に増加しており、名古屋市においても報告数は増加傾向にあり、2025年は最多を更新しています。特に男性は20～59歳、女性は10～29歳に多い傾向があります。また、性器クラミジアも20代を中心に多く見られます。保健センターでは無料検査や啓発活動を実施していますが、さらなる周知が必要です。

【課題】

若年層、特に20代を中心に性感染症の発生が多く、予防に関する知識の普及が十分とはいえない状況です。また、10代の段階から正しい知識を身につける機会が必要とされています。

【内容】

(1) 資料の配布・掲示

○性感染症の予防や検査に関する資料を配布・掲示し、知識の普及を図ります。

(2) 専門職による講話

○学校に出向き、若年層向けにわかりやすく性感染症予防について説明します。

(3) 啓発ブース

○学園祭等でのブース運営を通じて、学生と協働した啓発活動を行います。

(4) 啓発グッズ配布



資料掲示・配布



講話



学園祭啓発ブース運営